

# 『蛍光X線分析法と拡張現実技術の融合による コンクリート塩分濃度調査システム』

開発者：東北大学未来科学技術共同研究センター・日本大学工学部・株式会社エビデント  
株式会社復建技術コンサルタント・株式会社XMAT

国土交通省 NETIS登録番号：TH-220006

国土交通省点検支援技術性能カタログ 技術番号：BR010003-V0424

経済産業省 TOHOKU DX大賞2023：最優秀賞(東北経済産業局長賞)

シンプルな操作

調査データをウェアラブルグラスにマッピングすることで、  
コンクリートの劣化情報を直に見ながら点検・補修作業が可能となり、  
検査結果と補修箇所を紙など書き写すなどの手間が無くなり、  
大幅に省人力化に貢献します。

ハンズフリー

補修作業効率アップ

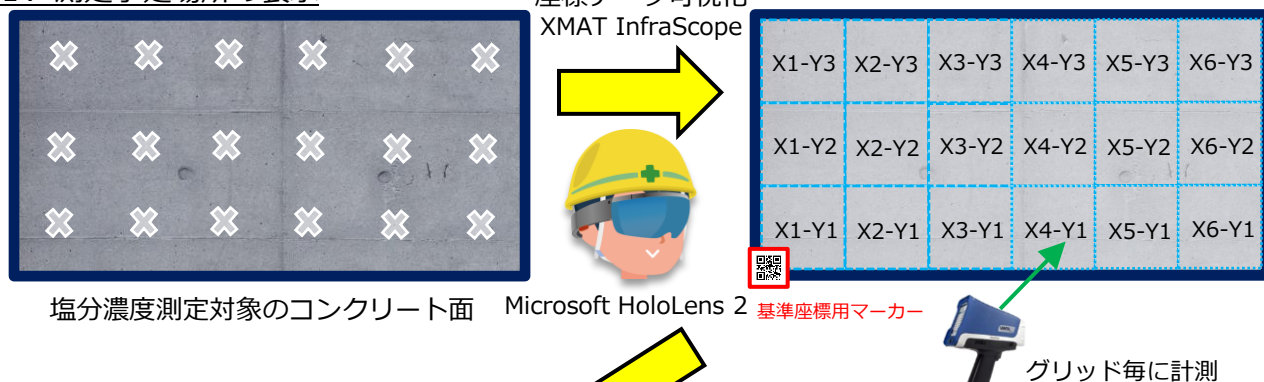
従来のコア抜きで作業時間と分析費用に膨大なコストがかかっていた塩害診断は、  
非破壊検査方法である蛍光X線分析との  
組み合わせにより劇的に効率アップします。

人手不足解消

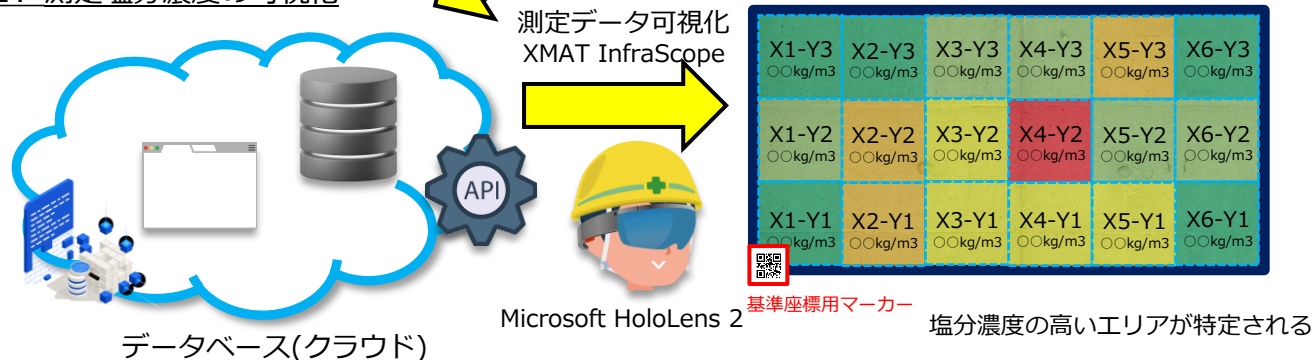
※今後は、現在のコンクリート塩害診断対応から用途を拡張する予定です。

## ～活用イメージ～

### 1. 測定予定場所の表示



### 2. 測定塩分濃度の可視化



## ～投影イメージ～

